

適正な学校規模の考え方（骨子）
（案）

①	目指す教育 （教育未来像）	「共に学び 未来を拓く 北本の教育」	
↓			
②	学校教育の 主な3つの目標	基本目標Ⅰ	「確かな学力と自立する力の育成」
		基本目標Ⅱ	「豊かな心と健やかな体の育成」
		基本目標Ⅲ	「質の高い学校教育の推進」
↓			
③	3つの目標の 実現に必要な 要素等	基本目標Ⅰ	主体的・対話的で深い学びの実現 ※子供たち同士が多種多様な考え方にふれ、相互に刺激し合う環境
		基本目標Ⅱ	他人を思いやる心や公共の精神を養成 児童生徒の健康の保持増進・体力向上 等 ※同じ学年のクラス間で協力し合い、刺激し合う環境
		基本目標Ⅲ	複数の学級構成に基づく教員配置 ※学校全体の教育力を維持し、質の高い学校教育を推進
↓			
④	そのためには… 【骨子】	1学級（クラス）あたりの人数の規模を重視 【～北本市では1クラスの人数を大切にします～】	
↓			
⑤	適正な 学校規模（小）	おおむね、半分以上の学年でクラス替えができる規模	
	適正な 学校規模（中）	全学年でクラス替えができる規模	
	目指す 学級編制（小）	学級編制基準に定める人数の半数を超える人数で編制 ※小学校の低学年時からの「きめ細かな指導」を推進	
	目指す 学級編制（中）	学級編制基準に定める人数の半数を超える人数で編制	